

## 令和2年度教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
39	東濃高等学校

学校教育目標	知徳体の調和のとれた将来優位な人材を育成する。	
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 学習指導・教科指導を充実させるとともに、「少人数コミュニケーション講座」の充実・改善に向けた研究を行います。	<p>① 「授業のユニバーサルデザイン化」「評価の可視化」「加点法」により、各授業のテーマを明確化することで授業に取組みやすくし、次の学習への動機づけになるような評価を実践します。</p> <p>② ICT機器の活用を研究・推進するとともに、生徒の実態に合わせた「主体的で対話的な深い学び」を各教科で実践します。</p> <p>③ 「地域づくり類型」では地元御嵩町等の協力の下、授業を展開します。また、御嵩町防災教育推進事業『みだけ防災未来塾』の一環として、実践的な防災学習を行い防災士の取得を進めるなど、授業を通じた地域社会人の育成を目指します。</p> <p>④ 全校生徒の30%以上を占める外国人生徒に対して、学校設定教科「日本語」の授業を行うなどの学習支援を行います。</p> <p>⑤ 「少人数コミュニケーション講座」を2・3年次で開講し、生徒のニーズに応じた指導ができているかを常に検証し、研究を重ねます。</p>	<p>① 生徒及び教員による授業評価(肯定的評価70%)</p> <p>①② 高校生のための学びの基礎診断の結果(5%向上)</p> <p>② 教員による授業評価(実施回数1回以上)</p> <p>③ 地域づくり類型のアンケート実施(生徒の満足度70%) 防災士取得2名以上</p> <p>④ 日本語能力を測る検定試験(各個人が前年より上級習得)</p> <p>⑤ 受講生徒による振り返りシート(各個人の満足度80%)</p>
2 生活指導・特別活動指導を充実します。	<p>① 「『あじみ』のできる学校」をキャッチフレーズにあいさつの励行、時間を守る行動、身なりを正すことを大切に指導します。また、身なり指導やマナー指導を通して、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を目指します。</p> <p>② 全職員が共通理解の下、一丸となって「見逃さない」「誰もが同じ指導」を目指します。</p> <p>③ 部活動・ボランティア活動を活性化し、活気と思いやりの心を育成します。</p>	<p>① 学校関係者評価(肯定的評価70%)</p> <p>② 生徒対象アンケート 校門指導を行う保護者への意見聴取(肯定的評価の有無)</p> <p>③ ボランティア参加人数(のべ200人以上の参加)</p>

<p>3 コミュニケーション能力を育成するとともに、キャリア教育を充実します。</p>	<p>① 演劇表現ワークショップやキャリア教育プログラムにより、コミュニケーション能力を育成し、望ましい人間関係を構築します。          ② 進路ガイダンス等により進路目標を具体化し、望ましい勤労観・職業観を育成します。          ③ 町役場や国際たくみアカデミー等との連携による外部人材の活用により、進路目標実現に向けてのスキルの習得を促します。</p>	<p>① 講師等への意見聴取（肯定的評価の有無）          生徒対象アンケート（肯定的評価70%）          ② 学校評価アンケート（肯定的評価70%）          ③ 活用回数（10回）</p>
<p>4 「教職員の働き方改革プラン2020」に基づき、職場環境の整備を進め、教職員が健康でいきいきと生徒一人一人に対ししっかりと向き合う学校づくりを行います。</p>	<p>① 出退勤管理システム等の活用により、管理職が教職員の時間外勤務時間を正確に把握し、各職員への声かけや指導を徹底します。          ② 定時退庁日の徹底や計画的な休暇の取得促進により、教職員の健康管理への意識を高めます。          ③ 管理職が普段から各職員とのコミュニケーションを取り、風通しのよい職場作りに努めるとともに、ストレスチェックやハラスメント調査を定期的に行い、全職員が「元気に出勤、笑顔で帰宅」できる職場づくりを心がけます。</p>	<p>① 時間外勤務時間が月45時間を超える職員数          （前年比50%減→基本目標0人）          ② 年次休暇取得日数5日未満の職員数（0人）          ③ ストレスチェック疲労度「6」以上の職員数（0人）</p>